



長野県産業人材育成プランの概要

(第 10 次長野県職業能力開発計画)

～一人ひとりが持てる能力を高め、信州の「稼ぐ力」を創出する人材の育成～

しあわせ信州

資料 2

■第 1 部 計画の趣旨

- 職業能力開発促進法の規定に基づき、国の職業能力開発基本計画や県の総合計画等を踏まえ策定
- 職業能力開発の実施目標や施策の基本方針について定める
- 計画期間は平成 2 8 年度から 3 2 年度までの 5 か年

■第 2 部 現状と課題

1 人口及び生産年齢人口の減少

- 人口の減少
- 生産年齢人口の減少
- 老年人口の増加

2 産業構造の変化

- 就業者総数の減少
- 産業別就業者数
第 1 次産業の大幅減
- 事業所数の減少
- 産業別事業所数
第 2 次産業の大幅減

3 就業構造の変化

- 低迷していた有効求人倍率の改善
- 女性の有業率の上昇
- ひとり親家庭の増加
- 高等学校卒業者の就職者の増加
- 高等学校卒業者の就職内定率の向上
- 若年就業者の減少
- 障がい者の就職件数の増加
- 非正規雇用の増加

■目指すべき方向性

県内産業の「稼ぐ力」の向上にむけ、県民一人ひとりが持てる能力を高め、その能力を存分に発揮する人づくりや環境づくりを進めます。

■第 3 部 5 つの基本的施策

1 生産性向上に向けた人材育成の強化

労働者一人ひとりの技能・技術を高めるための取組を展開
(主な施策例)
・在職者のスキルアップ講座の充実、在職者・離転職者向け I T 訓練コースの設定

2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進

女性、若者、障がい者等個々の特性やニーズに応じた職業能力開発の機会を提供
(主な施策例)
・育児等と両立しやすい短時間訓練コース、託児支援サービスの提供、女性向け在職者コースの設定、障がい者向け訓練において手話通訳者等を派遣

3 産業界のニーズや地域の創意工夫を活かした人材育成の推進

(主な施策例)
・企業ニーズに応じたオーダーメイド型の訓練コースを拡充

4 人材の最適配置を実現するための労働市場インフラの戦略的展開

職業訓練や技能検定等を効果的に展開
(主な施策例)
・成長期待分野（航空機産業等）、人材不足分野（建設、介護等）の訓練コースを設定

5 技能の振興

技能が尊重され、職人の社会的評価を高める取組を展開
(主な施策例)
・小中学校の段階からものづくりに触れる機会の拡大

■第 4 部 工科短期大学校・技術専門校の今後の方向

- 位置づけの再検討
- 地域との連携強化
- 個々の特性に合った職業能力開発機会の充実
- 生産性向上に資する I T 人材育成の強化・加速化
- 若年者の職業観・勤労観の醸成
- 在職者向け訓練
- 訓練環境の整備
- 安定した指導体制の構築
- 就職支援体制の充実

■数値目標

項目	目標値 (H32)
①スキルアップ講座の受講者数	2,075 人
②女性の多様な働き方に対応したコース数	12 コース
③オーダーメイド講座数	60 コース
④成長期待分野・人材不足分野の新規コース数	5 コース
⑤信州ものづくり未来塾の開催講座数	100 講座
⑥工科短期大学校就職率	100%
⑦技術専門校（学卒者訓練）就職率	95%
⑧技術専門校（離職者訓練）就職率	80%

※単年度値：①～③、⑤～⑧ 期間累計値：④

長野県産業人材育成プラン（H28～R2）の取組状況

5つの基本施策	県の主な取組	数値目標（R2年度）	R1実績、R2見通し
1 生産性向上に向けた人材育成の強化 労働者一人ひとりの技能・技術を高めるための取組を展開	○スキルアップ講座・技術講座（在職者訓練） ○職業能力開発に関する研修情報の提供 ○企業内IT人材育成講習	・在職者向けスキルアップ講座の受講者数 → <u>2,075人</u>	・R1実績 <u>2,110人</u> ・R2見通し <u>—</u>
2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進 女性、若者、障がい者等個々の特性やニーズに応じた職業能力開発の機会を提供	○工科短大、技術専門校における施設内職業訓練 ○民間活用委託訓練及び障がい者民間活用委託訓練 ○ながのアビリンピックの開催や全国大会への出場支援 ○子育てで離職した女性等への職業能力開発講座	・離転職向け民間活用委託訓練における育児等と両立しやすい短時間訓練コースや託児支援サービスを付加したコース等、女性の多様な働き方に対応したコース数→ <u>12コース</u>	・R1実績 <u>11コース</u> ・R2見通し <u>12コース</u>
3 産業界のニーズや地域の創意工夫を活かした人材育成の推進	○企業ニーズに対応したオーダーメイド型スキルアップ講座	・在職者向けスキルアップ講座のオーダーメイド講座数→ <u>60コース</u>	・R1実績 <u>36コース</u> ・R2見通し <u>—</u>
4 人材の最適配置を実現するための労働市場インフラの戦略的展開 職業訓練や技能検定等を効果的に展開	○安定的な就業につながる離転職者向け訓練コースの設置 ○工科短大、南信工科短大に就職支援員（キャリアコンサルタント）を配置し、就職支援を強化 ○技能検定や技能評価認定制度による産業人材育成支援	・離職者向け民間活用委託訓練における成長期待分野・人手不足分野の新規コース数 → <u>5コース（5年間の延べ数）</u>	・R1実績 <u>0コース</u> （延べ4コース） ・R2見通し <u>1コース</u> （延べ5コース）
5 技能の振興 技能が振興され、職人の社会的評価を高める取組を展開	○卓越技能者、技能五輪成績優秀者等の各種知事表彰 ○「信州ものづくりマイスター」等を小中高校等に派遣し、キャリア教育の一環としてものづくりに触れる機会の創出	・信州・未来のひとづくり塾の開催講座数 → <u>100講座</u>	・R1実績 <u>95講座</u> ・R2見通し <u>100講座</u>

工科短期大学校・技術専門校の今後の方向	県の主な取組	数値目標（R2年度）
1 工科短期大学校の在り方 ○教育と研究の質の向上 ○高度人材育成のニーズへの対応 → 卒業後に、より高い教育が受講できる環境づくりの検討	○研修の受講及び大学や企業との共同研究等の実施 → 職能大等での技能・技術実践研修の受講、振興会企業との共同研究等 ○文部科学省に、工科短大から大学等への編入学が可能となるよう要望（平成30年度）	①工科短期大学校就職率（専門課程）→ <u>100%</u> ②技術専門校就職率（普通課程）→ <u>95%</u> ③工科短大・技専就職率（短期課程）→ <u>80%</u>
2 技術専門校の在り方 ○訓練内容や訓練科の見直しについて検討	○技術専門校機能強化検討会で技術専門校の在り方を議論（平成30年度に4回実施） → 検討結果を踏まえ、自己評価システムを導入 → 自己評価結果をもとに各校で運営協議会（年1回）を開催し、見直しを検討	R1実績、R2見通し ①R1実績 <u>98.0%</u> R2見通し <u>—</u> ②R1実績 <u>95.9%</u> R2見通し <u>—</u> ③R1実績 <u>74.1%</u> R2見通し <u>—</u>
3 今後の方向 ○各業界の需給動向等をもとに県全体の職業能力開発のあり方について検討 ○地域、企業と連携し、効果的に情報発信を行い、認知度を高める ○個々の特性に合った職業能力開発機会の充実を図る ○生産性向上に資するIT人材育成の強化 ○訓練環境の整備	○各業界の需給動向等の実態から、人手不足分野に係る職種について新たにコースを設置（民間活用委託訓練） ○工科短大、技専の認知度向上を図るため、民間の進学相談会へ参加（令和2年度は長野会場、松本会場に参加） ○生産性向上に係る在職者訓練（IT系を含む）の実施 → CAD/CAM入門、IoTで変わる製造現場等の講座を実施 ○訓練生の多様性に柔軟に対応するための研修に原則全指導員が受講（平成28、29年度） → 職能大オーダーメイド研修「精神障害・発達障害に配慮した支援と対応（理解と接し方）」を受講 ○計画的かつ訓練ニーズに則した機器の導入 → 優先順位をつけて計画的に機器を更新（新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、令和2年度はオンライン授業に係る機器を整備）	